

種市城跡・城内

洋野町種市の城内地区。

城内という地名通り、戦国時代、南部藩の家臣である種市氏の城があり、当時、種市の中心でした！

城内の集落を中心に、平地には居館となる『平城』があり、南側の山中に戦時の拠点となる『山城』がありました。

「平城」は、そのまま集落になり、建造物の跡は残っていません。

県道20号沿いにある「東長寺」(右写真)の南側道路沿いに、町の教育委員会が立てた、種市城の説明の看板があります。

県道20号を「東長寺」から西、軽米方面に向かって行くと、左に入ってまたすぐ県道20号に戻る道があります。その道に入り、少し進むと左手に「山城」の案内の標柱が！

この道を上っていくと、空堀や曲輪(くるわ)の跡を見ることができます。

と言っても、整備されていないそうなので、今回は先に進むのを断念しました。

しっかり、地図と登山できる靴や装備を整えて行くことをおすすめします！

